



第2連合の森・滝沢「春子谷地」 自然保護へ宮古地協からも植樹へ参加!!

2019年6月1日(土)10時～ 滝沢市鶺鴒春子谷地にて約90名の参加者と「第2連合の森」植樹が行われた。

当日は暖かく天候に恵まれ、約600株のナラの苗木などを手分けして指定された範囲でそれぞれ思い思いに願いを込めて植樹をしていた。

作業は約1時間程度で終了、皆さん軍手をし、鍬を持ち、穴を掘り、苗木を植え、土をかぶせ、足で踏み固め、最後に土が乾かないように草などを上からかける。その作業を繰り返し汗をかき、疲れながらも笑顔で植樹を行っていた。

作業を終え集合場所に戻り、さぁ～おにぎり、豚汁タイム!

時折、岩手山が雲の隙間から顔を覗かせ、いかにも自然に囲まれた感が何とも言えない心地よさ、それを背景に「頂きまあ～す!」楽しそうに食していました。



滝沢市担当者から、現在の連合の森として今後10年継続で植樹できる広さがあるとのこと(°▽°)(電労さんとの合同となっている。)

また、時折記念樹として桜も植えている。

自然環境を保護するうえではこの植樹活動は貴重な活動ととらえ各単組の皆さんも是非、参加下さることを願っております。

自然は自分たちの手で守りましょう!



林野労組三陸北部分会の古舘さんご一家で参加下さいました。家族で共同作業、見て「ほっこり」しました。(°▽°)

高教組宮古支部宮古商業から安藤さんが参加下さいました。作業中の写メとれなかったです(^^;) すいません! 安藤さん「大変良かったです!」次も参加したいです。とのこと!!(^^)!

JP労組宮古支部から中嶋さんご夫婦の参加! 仲睦まじい～ですね!(^)-☆

何だか一人、怪しい格好の人が写ってますね!(°▽°) 宮古地協の佐々木です! 皆さんと一緒に植樹してまいりました。宮古地協として参加の皆さんにお礼を申し上げます。

6月8日～9日八幡平市を中心に 連合岩手宮古・県北地協第7回合同学習会 馬糞と地熱の地域資源で地域産業の活性化を視察!!

2019年(令和元年)6月8日(金)～9日(日)にかけ「連合岩手宮古・県北地協第7回合同学習会」を25名参加(宮古7名・県北18名)のもと八幡平市を中心に合同学習会を実施。

今回は、県北地協からの提案で地域資源で地域産業の活性化の現場視察や競走馬を終えた馬との出会い、温泉付きのロッジにて薪割体験をしBBQ、自由交流、次の日は、イーハトーヴォ安比高原自然学校にて蕎麦打ち体験をするなど、盛りだくさんの学習会を行ってきた。

八幡平市の自然に触れ、多くの地域活動を行っている方々と出会いありで、参加者の皆さんは充実した学習会となったことに満足していた。

宮古地協ではレンタカー移動となりましたが、参加者が増えることを次回期待したいです。

来年の予定は宮古地協での企画となることから今から、宮古地域にアンテナを張り充実した活動の提供を進めていきます。!(^^)!



ジオファーム八幡平は「企業組合 八幡平地熱活用プロジェクト」をもとに「馬ふんと地熱で作っています」がコンセプト！ここにお邪魔しました。(^^)/



上がホワイトマッシュルームで、下がブラウンマッシュルーム、この2種類栽培。



マッシュルームは生でも食べるといふことで、摘みたてを食べてみました！

ほんのりキノコだ！と言う味がありました。

サラダに混ぜれば美味しくいただけるのか？

マッシュルームはデリケートなんですよ！手早く収穫するのがコツですとのこと。



↑ 船橋友紀恵さんから説明と案内を頂いた。船橋さんは、この事業に感銘を受け静岡県から移住したようです。



500円玉ぐらいが出荷目安の大きさ。成長が早く朝とり忘れ、夕方になると既定の大きさはるかに超えているらしいです。



ここにいる馬は、もと競走馬！1頭 現役も。人を怖がらず寄ってくるはずですよ(^◇^)



一線から退いた馬の居場所づくりがあり、馬糞と地熱を利用したマッシュルーム栽培！地域資源を活用した地域産業の活性化を垣間見た。

マッシュルーム栽培は東北でも数少なく岩手で1～2件！大手スーパーにも卸しているとか。

詳しく知りたい方はwebで

↓
<http://geo-farm.com>
 をクリック!!





オールドモーターロッジ移動し、薪割り研修・バーベキュー準備。ロッジは温泉付きだよ!



乾杯～！佐助豚のスペアリブ・ホルモン・鮎・野菜と地産地消に貢献、ロッジも素敵に仕上がってました。我等が最初の利用者でした。



2次会は、素敵なホールで親睦を深めましたね！何時まで交流したのかな？消灯は23時だったと思ったけど？でも皆さん楽しんでましたよ！楽しさ満開のツーショット！(^_^)



さて、本日は蕎麦打ち体験学習です。エプロンを身に着け、準備万端！



麺は不揃いだけど美味しいヨ！



イーハトーヴオアシス高野自然学校にて蕎麦打ち体験へ、宮古地協のメンバー頑張りました。地元で蕎麦打ちの講師のお姉さん方に教わり蕎麦ができました。その場で打った蕎麦を試食、なかなかの腰がある蕎麦が出来ます。麺の細さは不揃いの麺たちでした。講師の方々に感謝です。お礼を込めて班ごとの記念撮影。楽しい研修となりました。お疲れ様です。来年は宮古地域を予定します。



宮古地協から合同学習会に参加下さった単組・・・宮古市職労(小堀内さん・長門さん)、東北電労宮古支部(鈴木さん・大平さん)、ユアテックユニオン宮古分会(澤山さん)、JP労組(滝上青年委員長)、宮古地協事務局長の7名でした。

県北地協からは、岩教組県北支部、JP労組県北支部、東北電労釜石支部・二戸支部、東京銀座ファッションユニオン、県北地協事務局長で18名参加でした。(全員の名前把握しきれなかったのであしからず)

アンケート調査結果

ジオファーム八幡平視察

良かった19名・適当1名・課題0名

夕食懇談会

良かった19名・適当0名・課題0名

蕎麦打ち体験

良かった18名・適当0名・課題0名

全体的に

良かった18名・適当0名・課題0名

結果としては、両地協の親睦が図られ、体験学習もあり充実した感想が多かった。

来年は宮古で開催予定！
各単組間の輪を広げよう！ 地域の資源を発掘しよう！
さあ～みんなで楽しもう～！ そんな交流にしよう！

第90回メーデー高知県中央大会!!「おたのしみ抽選」 当選者に宮古の特産品を7年連続届ける！ 連合高知さんの支援に感謝



第90回メーデー高知県中央大会が、天候に恵まれ、2019年4月27日(土) 10時より、23産別、11団体から約1,200人が参加のもと、開催された。

主催者代表の折田会長より挨拶があり、「私たち労働組合の当面の最大の課題は、格差をなくすること!、企業規模間格差、地域間格差の拡大も見過ごせない。高知と東京では、最低賃金223円もの差がある。こうした格差の実態が人口流出に拍車をかけている」等々、働き方改革に関連する一連の改正法の施行など、労働組合が果たしていくべことを確認してきた。そのほか地域貢献活動をはじめとして、地域課題などを踏まえた取り組みを活潑にし、「地域全体

で解決していく」と言う機運を高めてく取り組みを強化していきたい。そして今年も政治決戦の年、「格差・貧困社会から脱却し、民主主義をと取り戻しこの国の再生を図るためには、ここで勝利を納めなくてはならない、組織一丸となって一強政治打破、連合推薦候補の勝利に向けて取り組んでいく」と力強く訴えた。その後は各来賓から順次挨拶を頂き、次第は進む、いよいよ恒例の「おたのしみ抽選」!



3枚の写真はその時のもの、当選番号発表! まだ続く当選番号! 当選者には豪華賞品が送られる。震災復興を願って宮古特産品を景品として7年間連続で購入頂いております。

この絆を大切にしていきたいと思っております。連合高知の皆さん本当にありがとうございました。抽選会で当選された方々には5月中にお手元に届くよう手配、既に宮古の味を堪能されたことと思います。

宮古の地から感謝申し上げます。